



苫小牧中央青果株式会社  
支店野菜部 次長(千歳市場勤務)  
**佐藤 治樹**さん  
みどり台南在住・2児の父

農家の皆さんと  
買ってくれたお客さん、  
どちらにも喜んでもらえたときが  
一番うれしいですね。

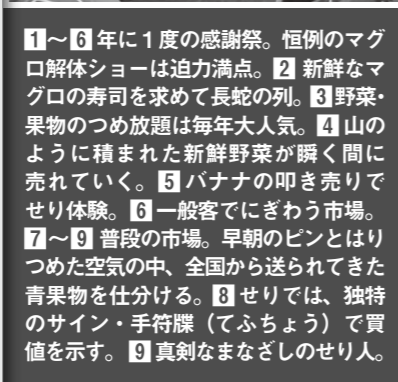
実家が農家で、子どものころから親の仕事を手伝ってききましたが、進学先の農業高校で流通のことを学び、卸売の仕事に興味をもちました。卒業後は、千歳市場で25年間ずっと仕事をしています。

おもに葉物野菜の《荷引き》(農家、農協、商社などから商品を引き受けること)から市場内での販売までを担当しています。私は、親の背中を見て育ってきたので、生産者がどれほど苦労して野菜をつくっているかをよく知っています。丹精込めてつくられたおいしい野菜が、畑から食卓に並ぶまでの道のりを支えているこの仕事にやりがいを感じます。生産者と買ってくれたお客さん、どちらにも喜んでもらえたときが一番うれしいですね。

千歳に市場があることを知らない方もいるでしょう。市場では関係者が協力し、《市場感謝祭》をはじめ、《出張せり体験》や《市場見学》、《親子料理教室》など、市民の皆さんが市場とふれあう機会を設けています。ぜひ、これらをきっかけに市場をもっと身近に感じていただきたいです。



4



5



2



3

1~6年に1度の感謝祭。恒例のマグロ解体ショーは迫力満点。2 新鮮なマグロの寿司を求めて長蛇の列。3 野菜・果物のつめ放題は毎年大人気。4 山のように積まれた新鮮野菜が瞬時に売れていく。5 パナナの叩き売りでせり体験。6 一般客でにぎわう市場。7~9 普段の市場。早朝のピンとはりつめた空気の中、全国から送られてきた青果物を仕分ける。8 せりでは、独特のサイン・手符牌(てふちょう)で買値を示す。9 真剣なまなざしのせり人。



1



このうち4割以上は、市内・近郊のスーパーなどに流通しています。毎日、皆さんの食卓に並ぶ青果や水産物の一部は、家庭の台所の前に、市場という《マチの台所》を通じて届けられています。市場では、入荷した生鮮食品を販売する卸売業者、卸売業者から購入する買受人、売買の間に入る仲卸業者など、90人以上が働き、《安全・安心》の理念のもと、千歳の食を支えています。全国各地の新鮮な食材を家庭の食卓に届けるため、今朝も市場には威勢の良い《せり》のかけ声が響き渡っています。

千歳市公設卸売市場(以下、市場)には、市内・近郊はもちろん、全国各地から出荷された野菜や果物、水産物といった毎日の食卓に欠かせない生鮮食品がさまざまな流通経路で送られてきます。ここに集まった生鮮食品は、市場内の卸売業者が分類して、市内外のスーパーや飲食店など、たくさんの取引先に販売されています。

《卸売市場》は、生産者に販路(売り先)を、小売業者に仕入れの場を、それぞれ安定的に提供することで、迅速かつ効率的に、地域の消費者へ生鮮食品を届けるという役割を担っています。日ごろは、一般の方が直接買物に行く場所ではありませんが、私たちの生活にとても密接な施設です。

市場では、年間6621トンの生鮮食品の取引が行われています(平成29年度)。1日あたりでは約25ト(開市日数266日)となり、メスのアジア象の体重にたとえると、12頭分に相当します。



出張せり体験  
7月21日撮影

10/14日  
8:00-12:00  
公設卸売市場  
(上長部 958-1)

おトクでおいしいが盛りだくさん!  
**市場感謝祭**

- 農水産物の直販●マグロ解体ショー & 握り寿司の販売
- 千歳高校×(株)もりもと共同開発《市場パン》の販売
- せり体験●野菜の袋詰め放題●じゃんけん大会
- いくら丼の販売 ●こどもひろば など

私たちが育てた  
おいしいピンを  
販売します!



《市場パン》を企画した  
千歳高校の皆さん



記事の  
詳細  
市公設卸売市場  
☎(24) 2709 ☎(23) 6335  
QRコード  
市  
口場  
グの